

はまます いっぺがだれや つうしん

～石狩市浜益地域おこし協力隊通信～

Vol.61



※「いっぺがだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」という意味の浜益の言葉です。

発行日：令和4年4月1日
発行：石狩市浜益地域おこし協力隊

隊員紹介



井上 優太

中学時代は野球部だったので、雪が解けると、キャッチボールをしたい気持ちになります。運動したくなってくる時期です。

今月の〇〇

冬の間読書を始め、今日までに4冊読みました。次回まで習慣化しているといいな…。

2/26(土)

りんごを通じてオンラインで交流！ 浜益「りんごナイト」開催！



送付物の写真です。「りんごや手書きの冊子は温かみがあり、嬉しかった」との声もありました。



果樹園の1年を紹介しました。参加者からは「最も大変な作業は何ですか？」と質問もあり、興味を持ってもらえたと思います。

ドライ加工で送料の負担を軽減し、浜益や果物のファンを作りたいと思い、来年度のドライりんご商品化に向けて動いています。

浜益産ドライりんご・紹介冊子・アレンジレシピを郵送し、オンラインで交流するりんごナイトを実施しました。

オンラインでのイベントは初めてでしたが、定員を越え21名が参加。ドライりんごを食べながら、「どうやったら売れるか」を一緒に考えてもらいました。

「道外へのお土産として販売してほしい」との声もあり、今後に繋がるイベントになりました。

2~3月 実付きを良くする 剪定作業

2月中旬ごろから、剪定作業に取り組んでいます。
剪定は、木のバランスを整える作業です。作業する木だけでなく、周りの木も見ながら作業します。

今年は大雪の影響で終始急ぎ気味の作業です。私はまだ経験が少ないため、テンポよく判断することや、重いチェーンソーを片手で扱うことは難しいですが、夏の収穫作業をイメージして作業しています。

来季の収量に直結するシビアな仕事ですが、頭と身体をフルに使い、安全第一で頑張ります。



埋まった下枝を切り、支柱を入れました



剪定した枝



作業後の木

厚浜合同イベント 協力隊活動報告パネル展



展示イメージ(一部抜粋)

昨年度に引き続き、協力隊活動報告の
パネル展示を厚田・浜益で行いました！

4月は石狩市役所本庁舎ロビーでの展示を
予定しています。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

今月の1コマ 食品衛生責任者資格取得！



約8時間のオンライン講習を受講し、
食品衛生責任者資格を取得しました。

今後はドライりんごのような
果物を加工した商品開発や
イベントとしての出店などに
活用できればと思います。

編集後記

2月は、日常の果樹園での活動の他、初めてのオン
ラインイベント実施や、協力隊活動報告の展示物作成
など盛りだくさんでした。

来月からは新年度になります。浜益の協力隊として
は引き続き1人なので、厚田浜益で連携した取組を
行えたらと思います。(井上)

地域おこし協力隊へのお問合せや情報提供はこちらまで！

Hand drawn

地域おこし協力隊 井上 優太

090-1520-2048 ④: yu1211.cw208@gmail.com

【はまます いっぺがだれや つうしん】は隔月発行になります。次号は6月1日発行予定です。

はまます いっぺかだれや つうしん



～石狩市浜益区地域おこし協力隊通信～

vol.62

※「いっぺかだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」という意味の浜益の言葉です。

発行日：令和4年6月1日
発行：石狩市浜益区地域おこし協力隊

隊員紹介



井上 優太

久々に髪を短くしたら、後ろ髪の襟足があった部分が真っ白でびっくりしました。早く真っ当な日焼けを手に入れたいです。

今月の〇〇

連載開始から追っていた「SPY×FAMILY」がアニメ化され、テンション高めです。

4/30(土)

果樹園で自然体験！ モニタープログラム



浜益や果樹園の魅力である豊かな自然を、浜益ファンに伝えたいと思い、「春の果樹園で自然体験」をテーマにして、春の果樹園でお花を見たり、付近を散策したりするモニタープログラムを実施しました。

当日は札幌近郊から7名が参加し、参加者からは「札幌では感じられない非日常を満喫できた。」「きれいな景色の写真を撮って楽しかった。」等の声がありました。

昨年度、自然学校や児童デイサービス事業所の子どもたちの受入に関わり、はじける笑顔を目の当たりにして浜益の魅力である豊かな自然を感じられるプログラムを作ることに価値を感じたので、今後の定期開催を目指して頑張りたいです。



当日は天候に恵まれました 梅の花が咲いていました 木を見ながら農作業について説明

4~5月 苗木の植え付け

～いつかは大木に～



手前：植えた苗木
奥：昔からの木

今年は、さくらんぼ4本・りんご3本の計7本の苗木を植えました！植え付けは本数や品種により、将来の果樹経営に大きな影響を与える要素であり、木の成長にも時間がかかるため、重要な作業です。

植え付けはその作業一つ一つに体力と繊細さが求められる仕事です。土を掘っていたら大きな石が出てきて驚きましたが、無事にすべての木を植えました。

また、場所の選定では園内の木の生育や収量等、様々な要素を考慮して植えることの大切さを学びました。収穫できる日はまだまだ先ですが、楽しみです！



暑い日は水やりします。

今月の1コマ 浜益滞在の受入 ～昔の地図で浜益巡り～



雪解けとともに新年度に入り、滞在受入の機会も増えてきました。滞在拠点の看板製作や、区民おススメのスポット巡り等、日々様々な活動を受け入れています。

4月には、昔の地図や航空写真をもとに、ezorockメンバーと浜益散策をしました。「昔と今の浜益の変化を知れて面白かった」との声がありました。

「昔の地図や集落の様子が見える写真を集めて、各集落を巡ってみたい」と感じました。

繁忙期に向けて



7月にはさくらんぼの収穫が始まります。販路拡大や収量の記録など、今後に向けて取り組んでみたいことがたくさんあります。一つずつ着実に積み重ねていきたいです。

編集後記

昔の地図で浜益を巡ったり、果樹園でお花を見ることを楽しんだり、山菜を少し調理したりと、1年半暮らしていても「浜益でできることの奥深さ」を感じた2か月でした。

こういう体験を一つ一つ記録し、興味がある人に繋げるような仕組みができればいいな。

地域おこし協力隊へのお問合せや情報提供はこちらまで！



地域おこし協力隊
井上 優太
090-1520-2048
✉: yu1211.cw208@gmail.com

【はまます いっぺかだれや つうしん】は不定期発行です。次号は9月1日発行予定です。

はまます いっぺかだれや つうしん

～石狩市浜益区地域おこし協力隊通信～

vol.63

※「いっぺかだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」
という意味の浜益の言葉です。

発行日：令和4年9月1日
発行：石狩市浜益区地域おこし協力隊

隊員紹介



井上 優太

10月着任なので、9月で浜益移住後丸2年になります。長いようで短い期間ですね。暑さで少しやせてきたので筋トレ頑張ります。

今月の〇〇

先日初めて、家族が勢揃いで浜益にやってきて、「自然とおいしい食べ物、人が優しいことが印象に残った」と話していました。時間の都合で回れなかったところもありましたが、お世話になった皆さん、ありがとうございました。

7/16・18(土・月祝)

協力隊・支援員コラボイベント 厚田浜益特産品販売会@道の駅



浜益産さくらんぼを100g単位で販売。協力隊の活動に興味を持って話を聞いてくれる方もいて、リアルな反応を知れた2日間でした。(出店は昨年に引き続き2回目でした)

7/16(土)および18(月・祝)の2日間、道の駅石狩「あいロード厚田」で特産品の販売会を開催しました！
厚田浜益の協力隊・支援員のコラボで企画・運営しました。

厚田区ではカットメロンやお米等を、浜益区では旬のさくらんぼをそれぞれ販売。さくらんぼを食べたことで、観光果樹園に直接足を運ぶお客さんもいました。

数年後の就農を目指し、今後は販路の拡大や食品ロスの削減にも取り組みたいです。新しい企画としては皆さんの力を借りながら、インパクトのある取組を考えていきたいです！



天候は曇りでしたが、少しだけ晴れ間が見えました。

果樹園プログラム

都市部の学生・社会人が浜益果樹園の取組に参加

6/15～7/25の間、札幌圏の学生や社会人が浜益に滞在しながら果樹園の作業に参加するプログラムが行われました。初めて果樹園作業や浜益に来る人と一緒に農作業に参加し、少しでも円滑に現場が回るようにと陰ながらサポートした1か月半が無事に終了しました。

参加者はezorockのメンバーで、アルバイトの皆さんと一緒にりんごの摘果や、さくらんぼの収穫、ブドウの誘引等に取り組み、「今度は摘果したりんごの収穫もやってみたい」等と話していました。



今月の1コマ RSR出店に参加 ～販売ノウハウを学ぶ～



8/12(金)～14(日)、石狩湾新港で行われたRising Sun Rock Festivalの出店に参加してきました。

冬の間を取得した資格が役立ち、何年も出店している店舗の運営を学ぶ機会にもなったので良かったです。

RSRは、石狩市内最大規模のイベントであり、私も浜益で一次産業に関わっているのので、今後は浜益の特産品を販売する枠組みを作れたらいいな。



作業風景



摘果前後のりんご



編集後記

果樹最盛期ということもあり、生産面(主に収穫)と+αの販売に取り組んだ月でした。1日中全力で仕事をすることはとても大変でしたが、例年以上に身になることが多かったように感じています。

9月末には梨やりんごの収穫があるので、心と体を整えて引き続き頑張ります。

地域おこし協力隊へのお問合せや情報提供はこちらまで！

地域おこし協力隊

井上 優太

090-1520-2048

☎: yu1211.cw208@gmail.com

【はまます いっぺかだれや つうしん】は隔月発行になります。次号は12月1日発行予定です。



はまます いっぺかだれや つうしん

～石狩市浜益区地域おこし協力隊通信～

vol.64

※「いっぺかだれや」は「みんな集まれ！語ろう！」
という意味の浜益の言葉です。

発行日：令和4年12月1日
発行者：石狩市浜益区地域おこし協力隊

隊員紹介



井上 優太

冬になると体が重くなるので、その前に痩せねば！と思い立ち、2週間で2kg落としました。

あと2kg落としてより動ける身体をゲットします！

今月の〇〇

毎週木曜日22時はTVドラマ「Silent」を観るので予定入れません。ドラマにハマるのはかれこれ数年ぶりで、毎週楽しみにしています。丁寧な描写・繊細な表現が好きです。

9～11月 果物といえば…実りの秋！ 収穫作業

9月中旬ごろから、果樹園の種類豊富な果物の収穫作業に取り組んでいます。収穫作業も3度目になり、目もようやく自然慣れしてきて、めばしいものを手早く収穫することができるようになりました。

今年は、強風で果物が落とされることもあり、これまで育ててきたことを考えると切ない気持ちで拾うようなこともありましたが、それでも厳しい冬を越え、花を咲かせ、実を成らせた果物を収穫するときの喜びはひとしおでした。



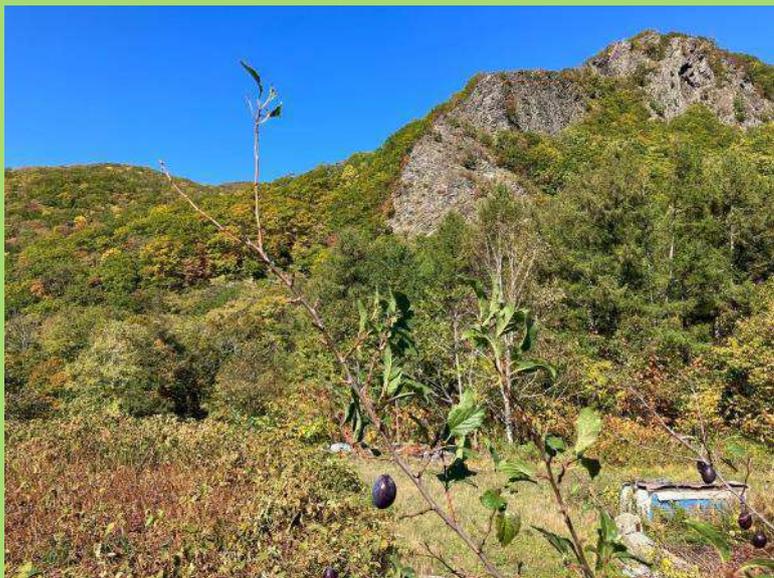
りんご (9～11月) 梨 (9～10月) プルーン (9～10月)

圧倒的に量が多く、10月末以降は毎日のように収穫していました。軸を押さえ、軽くひねるときれいに収穫できます。

今年は強風で一部の梨が落とされましたが、強風にも耐えた力強い梨を収穫しました。

梨やりんごと比べると、早い時期から収穫しました。まだハチが飛ぶ時期で、刺されないように注意しながら作業しました。

浜益定住に向けて…!



2020年から始まった協力隊活動も、10月で3年目に突入しました。「稼ぎの種を見つけて、任期終了後も浜益で暮らしたい!」と思いながら、あれこれ調べたり、できそうなことを少し試したりする日々です。

着任からずっと取り組んできた「果樹栽培」を大事にしたいとっていて、繁忙期と閑散期があり、時期的にできることとできないことがあります。前向きに浜益で生きていく道を探していきたいです。



今月の1コマ 英藍高校でスピーチ



9月15日、札幌英藍高校の総合授業の一環でSDGsに関するプログラムがあり、「果物の廃棄」をテーマにスピーチしました。

当日は約20名の生徒に対し、紙芝居形式で説明しました。約15分の発表を2回行いました。果物がテーマということで、参加者は女子生徒が約8割でした。

私にとっては、資料を作る過程で、客観的に果樹園の現状や自分の活動を見つめなおすことにもつながり、いい機会になりました。

実は学生時代にもこのようなプレゼンに取り組んだ経験があります。当日は果樹園の現状を知ることができたと感じました。

協力隊活動報告 パネル展のお知らせ



展示イメージ(昨年分より)

昨年度に引き続き、協力隊活動報告の
パネル展示を行います!

2月中旬～3月末、厚田浜益区内での展示も
予定しています。詳細は追ってお知らせします!

編集後記

今月で収穫期も終わり、厳しい冬に向けての準備や、雪の対処が始まることを感じました。

昨年は大雪で家の窓が埋まり、ガラスを壊さないように掘り出したり、屋根が折れて数日かけて雪下ろしすることになったり…。果樹園のこともあるので大変だったなあ…。

地域おこし協力隊へのお問合せや情報提供はこちらまで!

地域おこし協力隊
井上 優太

090-1520-2048

☎: r2010003@city.ishikari.hokkaido.jp

【はます いっぺかだれや つうしん】の次号は2月1日発行予定です。

